

厚生文教常任委員会 放課後学童クラブとの懇談会報告書

1 視察日程及び視察先

① 平成30年9月18日（火）午前9時30分～正午
学童保育所さくらクラブ ・ 学童保育所溝延さくらクラブ

② 平成30年9月19日（水）午前9時30分～正午
ちびっこ放課後学童クラブ ・ ちびっこ放課後西里学童クラブ

2 目的

放課後学童クラブの経営状況と運営環境の現状把握について

3 視察者

委員長 榎 正義
副委員長 東海林信弘
委員 丹野 貞子、増川 修、齋藤 隆、細矢 誓子、石垣 光洋
健康福祉課 堀米 課長、日下部 課長補佐
議会事務局 中野 局長補佐

4 視察内容

各放課後学童クラブ運営状況の報告や課題など支援員の方から説明をいただいた。
また、施設などの視察をさせていただいた。

<学童保育所さくらクラブ>

・平成30年度 登録児童数：55名（H30.5現在）職員数：正規3名
非常勤1名

・対象学区 谷地南部小学校

・施設出席者：吉田 玲子支援員・鴨田 望支援員・菊地 真琴支援員

・懇談内容と課題

○酷暑のためエアコンの追加導入を計画しているが、財政面で課題がある。（設置見積額が100万円だった）

○保護者に家庭や学校での悩み事などを相談された場合、対応に困ることがある。

○学童周囲の道路が狭く、児童の送迎時に混雑して安全確保に課題がある。



さくらクラブの皆さん、ご教授ありがとうございました

- 冬期間の駐車場と道路幅の確保に苦慮している。(送迎時など)
- 支援員の確保などの課題がある。

<学童保育所溝延さくらクラブ>

- ・平成30年度 登録児童数：24名（H30.5現在）職員数： 正規2名
非常勤1名

- ・対象学区 溝延小学校
- ・施設出席者：阿部 美佳支援員・大隅 幸子支援員
- ・懇談内容と課題

○町からの委託料について、児童の人数割りで委託料が決定してしまうので、施設にあった委託料も考えてもらいたい。

○駐車場の除雪をしっかりとお願いしたい。
(除雪作業の時間帯にバラツキがあるなど)

○周辺環境整備(樹木・除草など)や大掛かりな修繕などはお願いしたい。



溝延さくらクラブで施設の活用状況もご教授いただきました

<ちびっこ放課後学童クラブ>

- ・平成30年度 登録児童数：62名（H30.5現在）職員数： 正規5名
- ・対象学区 谷地中部小学校
- ・施設出席者：渡部 美香支援員
- ・懇談内容と課題

○入所する児童が増え、支援員の確保に苦慮している。

○児童のためにも、男性の支援員や若い支援員が必要と考えている。

○障がい児(5名)を預かっているが、専門的な研修などが必要で、支援員に各種研修を受講させようと考えているが、経費や支援員不足もありなかなか受講させることができない。



ちびっこ学童クラブでさまざまなお話を聞かせていただきました

○庭の水はけが悪く、2・3日経っても乾かないので困っている。

○学校から学童までの道路で(河北幼稚園西側)、人通りの少ない時間帯があり、大変危険に感じる。(不審者など)

○谷地中部小3年生は、ちびっこ西里放課後クラブで過ごしているため、送迎用バスの運行経費など負担が大きい。

<ちびっこ放課後西里学童クラブ>

- ・平成30年度 登録児童数：70名（H30.5現在）職員数： 正規2名
非常勤2名
- ・対象学区 西里・谷地中部・谷地西部・北谷地小学校
- ・施設出席者：高橋 美保支援員
- ・懇談内容と課題

- 各小学校児童（4学区）が利用しているため、各学校との連絡や連携に苦慮している。そのため児童の送迎にも影響している。
- 農村環境改善センターへの利用が多く、学童クラブからセンターへ町道を横切ればすぐ行けるが、横断歩道がないために渡れずかえって危険である。
- 学校から学童クラブまでの道路除雪に課題がある。



西里学童クラブまで通う道のりの安全性を確認しました

5 所感

<学童保育所さくらクラブ>

- 保護者からの相談について、対処困難な事案もあり学校・保護者・学童クラブとより一層の連携や支援が必要だ。
- 周辺環境（道路事情と除雪など）などの支援が必要だ。

<学童保育所溝延さくらクラブ>

- 入所児童の確保が課題である。
- 町有施設を活用しているため、施設や周辺などの環境整備の明確化が必要だ。

<ちびっこ放課後学童クラブ>

- 支援員が容易に研修などを受講できるような仕組みが必要だ。
- 支援員確保の支援が必要だ。
- 防犯対策もしっかり考えられて取組みされていた。

<ちびっこ放課後西里学童クラブ>

- 4学区から受け入れしているため入所する児童数が増え、施設も手狭になっている。
- 各小学校の情報収集など、連携に大変苦労しているため改善が必要だ。
- 西里学童クラブのような複数の小学校児童を受け入れしている学童クラブは、県内にも複数あるとのことだった。

6 まとめ

- どの学童クラブも支援員の方は児童に寄り添い、地域との関わりを大切にして運営されていた。(地域行事参加など)
- 児童が学童クラブで、さらに安全・安心に過ごすため、学校側との連携なども必要と感じた。
- 学校の担当教職員が代わっても、引き続き連携が取れるような学校側の配慮も望まれる。
- 委託料について、新プラン(40名単位としての委託料)の導入により財政面での改善はされているものの、大掛かりな事業や修繕などは、行政の支援が必要であると思われる。
- 学童クラブ施設の周辺(道路)や駐車場の除雪対策が必要と感じた。